

平成 28 年 6 月 20 日
運 輸 安 全 委 員 会

羽田空港の大韓航空機の重大インシデントに関する情報提供

運輸安全委員会は、5 月 27 日に羽田空港で発生した大韓航空機の重大インシデントに関し、国土交通省航空局へ 6 月 18 日に情報提供を行いました。その内容は、エンジンの分解調査において、エンジンのタービン・ディスクが破損していることが判明したため、エンジンメーカーは同型式のエンジンの使用者に対し、取り外されているエンジンのタービン・ディスクの点検を推奨する通報を発出したというものです。

1. 重大インシデントの概要

大韓航空所属 HL7534（ボーイング式 777-300 型）は、平成 28 年 5 月 27 日 12 時 38 分頃、東京国際空港 C 滑走路を離陸滑走中、左側エンジンに不具合が発生したため、離陸を中止の上、同滑走路上に停止し、脱出用スライドを使用して搭乗者を脱出させた。（軽傷者 9 名）

2. 航空局への情報提供の内容

現在までの調査の結果、当該機の左側のエンジンに関し、次の事項が判明した。

- (1) 同エンジンのタービン・ディスクの一部が破断し、エンジンケースを貫通していた。
- (2) エンジンメーカー（米国プラット・アンド・ホイットニー社）は、同型式エンジン使用者に対し、取り外されているエンジンのタービン・ディスクのマニュアルに従った点検を推奨する通報を 6 月 18 日付け（日本時間）で発出した。

別紙

